

事業所名		児童発達支援 ダイアキッズ		支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		25 日	
法人（事業所）理念		こどもはタカラモノ☆ひとりひとりの個性を生かし輝ける場所											
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性を尊重しつつ、集団活動でのコミュニケーションスキル や 日常生活スキルの向上を図り、こども達の生きる力を育てていきます。 ・社会参加や地域交流、また自然体験を積み重ねることで こども達の成長を総合的に支援していきます。 											
営業時間		9 時 ～ 1 8 時				送迎実施の有無		あり なし					
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の維持・改善 ○生活習慣やリズムの形成 ○基本的な生活スキルの獲得 				<ul style="list-style-type: none"> ・利用時の連絡帳での記入によりご家庭での健康状態（睡眠、食事、排泄等）の把握し、ご家族との連携を得ながら基本的な生活習慣を身につけられるよう支援します。また、その際にはこどもの心身の状態も確認し 小さなサインや異変に気付けるようきめ細やかな観察を行います。平常とは異なった状態を見つけた時には、速やかに子供一人ひとりの特性に合った必要な対応をしていきます。 ・散歩や外遊びを多く取り入れる事で、健康な体作りの基礎を育みます。 ・療育の中でLSTの要素を取り入れていきます。生活に必要な基本的なスキルの獲得として、衣服の着脱、排泄、身の回りを清潔にする事、食事のマナー、食後のテーブル拭き等の生活上のスキルの習慣化・身辺自立に向けて子供一人ひとりにあった適切な支援を行い生きる力を育みます。 ・衣服調節、室温の調節や換気、病気の予防（手洗い、うがい）や安全への配慮を行います。 ・ペアレントトレーニングで学習した感情のコントロール等を生かし、心の健康も支援していきます。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ○姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ○身体の移動能力の向上 ○保有する感覚の活用 ○感覚の補助及び代行手段の活用 ○感覚の特性への対応 				<p>日常生活に必要な動作や 姿勢の保持等に必要な基本的動作の習得を目指します。困難な場合は、一人ひとりの特性に合わせて補助をします。（自力での車の乗り降り、排泄時、食事時の姿勢保持等）保有する感覚（視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有覚 等）を、十分に活用出来る活動を 多く取り入れます。感覚（過敏や鈍麻）や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動：姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善（サーキット、トランポリン、マット運動、ストレッチ、リトミック、体操、ダンス、縄跳び、公園遊び、バランスボード、風船バレー、ボール遊び、ボウリング、バランスボール等） ・微細運動：目で見ようとして動く動作（制作：ハサミの使い方、ひも通し、折り紙、ぬり絵、粘土、糊の使い方 等 / ワークシステム：ビーズ通し、醤油差しのキャップ付け外し、 / シール貼り、お箸の練習、楽器遊び、シャボン玉、ビジョントレーニング、わらべうた、ジェスチャーゲーム、テーブル拭き時のスプレー操作 等） ・自然体験活動：ザリガニ釣り、フィールドビンゴ、ブルーベリー狩り、虫取り、野菜栽培、お花の球根やタネを植える、メダカの飼育、たけのこ掘り（毎年） 等 ・竹林でのミニコンサート（ギター、バイオリン、三線、和太鼓 等） 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○認知の特性についての理解と対応 ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成） ○行動障害への予防及び対応 				<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの認知の特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう環境設定を行い、偏り等、個々の特性に配慮し発達を支援します。レクリエーション（鬼ごっこ、かくれんぼ、だるまさんがころんだ、しっぽとり、紅白オセロ、まねっこゲーム、フィールドビンゴ 等） ・朝の会時の一日のタイムテーブルの確認による時間の認知、タイムタイマー等を利用し遊びの終わりの時間を告げたり、カウントダウンする事で時間の認知を促します。 ・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念の形成を図る。（ブロック遊び等による空間認知の形成） ・数量や形の大ささ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行います。 ・視覚優位の子が多い為、写真や絵カードを使ってその場に合った行動が出来るように視覚化します。（PECS等） ・日付や曜日の把握と数、天気認識を支援します。（日めくりカレンダー、お天気カード 等） ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ○言語の受容と表出 ○言語の形成と活用 ○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ○コミュニケーション手段の選択と活用 ○状況に応じたコミュニケーション ○読み書き能力の向上 				<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事物の体験と言葉の意味を結び付ける等により、言語の習得、自発的な発生を促す支援を行います。 ・「かして」「いれて」「いいよ」「どうぞ」「ありがとう」「ごめんね」等の遊びに必要な社会性のある言葉と動作を結び付け、話すことの楽しさを感じる声掛けをしていきます。（受容言語と表出言語の支援） ・一人ひとりに合ったコミュニケーション手段として絵カード（PECS）やマカトンサイン、指さし、身振り等を選択し活用します。 ・わらべうた、ジェスチャーゲーム、レクリエーション、SST、LST、読み聞かせ、しりとり、カードゲーム、風船バレー、ごっこ遊び、お買い物体験（言語によるコミュニケーションが出来るお子様には一人ひとりのレベルに合わせた言葉掛けをし、その場に合った正しい言葉使いも伝えています。言語が難しいお子様には一人ひとりに合わせた方法でコミュニケーションがとれるように支援をします。） 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○アタッチメント（愛着）の形成と安定 ○遊びを通じた社会性の発達 ○自己の理解と行動の調整 ○仲間づくりと集団への参加 				<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着）の形成と安定・遊びを通じて社会性の発達 日常生活や遊びを通して人との関係を意識し、身近な人や他者への信頼感の獲得、周囲の人との安定した関係の形成を目指します。 ・遊びに必要なルール（「かして」「いれて」「いいよ」「どうぞ」「ありがとう」「ごめんね」等）の人や物のやりとりを通して社会性の向上を支援します。 ・療育の中でSSTの要素を取り入れていきます。具体的には順番や他の人をほめる、他の人に認めてもらう経験を重ねます。 ・遊びを通して人の動きを模倣する事により、社会性や対人関係の芽生えを支援し模倣による習得と一般化を目指します。（見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊び、役割分担、遊びのルールを守る 等） ・SSTを通して感情のコントロールを身に付けたり、自分の出来る事、出来ない事等、自分の行動の特徴を理解するとともに気持ちや情動の調整が出来るように支援します。また、嫌な事や 困った時の対処法を身に付けます。 ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動の参加意識を高め、成功体験を積み重ねる経験の場を提供し支援します。（伝承遊び、鬼ごっこ、ジェスチャーゲーム、カードゲーム、ごっこ遊び、地域交流、外出活動、避難訓練 等） 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての助けとなる様に本人の強み、感覚や認知の特性をお伝えし、必要に応じて面談の機会を設けています。（6か月に1回以上の面談をしています。） ・きょうだいを含め、家族からの相談に対する適切な助言をし支援方法を共有していきます。 ・家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための延長支援を行います。 ・他の家族の成功事例の発表をする場を設定し、成功体験を共有することで希望と励ましを届けます。 ・必要に応じて相談事業所、発達支援センター、他事業所、専門医療機関等と緊密に連携を図ります。 ・毎月1回、専門の講師によるペアレントトレーニングに参加する場を提供し、子供の障害の特性等を理解して子育てのサポートしていきます。 ・メンタルヘルスや成長に伴っての課題について保護者と話し合い、心のケアをサポートします。保護者会を通して保護者同士の交流の機会を提供いたします。 												
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連絡会を定期的に開催し、情報収集、具体的な場面での子どもとの関わり方を提案していきます。 ・必要に応じて保育所等や医療機関等の情報連携や調整、支援方法や環境整備等に関する相談援助等の取り組みをしていきます。また、個別のケース会議を開催していきます。 ・虐待が疑われる場合には児童相談所やこども家庭センターとの情報連携を行います。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等と併行利用している場合における併行利用先との連携（移行先への相談援助、移行先への受け入れ体制づくりへの協力づくりへの協力、見学の調整 等）を行います。 ・学校選びや入学、ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けたアドバイスや選択肢を提示し、サポートします。 ・地域の公園や公共施設を利用し、同年代のこども達との交流の機会を作りインクルージョン推進の観点を常に持ち一般のこども施策との併行利用や移行に向けた支援に繋げていきます。 						
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月ペアレントトレーニングを開催し、保護者だけでなく職員も参加し、専門的な研修を受講しスキルアップの機会を作っています。 ・発達支援センターからの研修を受講し、療育現場の見学や専門職（OT, ST, PT）の方に巡回訪問をして頂き、支援のアドバイス等を受けて資質向上を図っています。 												
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・稲川淳二さんの「稲川芸術祭（お化けの絵）」に出品 ・地域の神社（大宮神社）の祭りに参加し神輿引き ・五井大市での作品展示 ・「できる。できない。じゃない！やってみるんだ！展」に出品 ・流しそうめん ・たけのこ掘り（毎年） 				その他		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面で支援を受けられるよう市原市のイベント等（スタンプラリー等）への参加をし、地域の中で居場所を持つことが出来るよう普段から関係機関や地域全体と連携し、子育て支援の活性化するためのネットワークの構築をしていきます。 ・公共施設（We!ほーる、コミュニティセンター、きぼー内こども交流館）を利用した活動を行い地域で暮らす他の子供との交流を深めていきます。 ・地域と連携した防災訓練や緊急支援ネットワークを構築し、災害時の対応力を高めます。 						